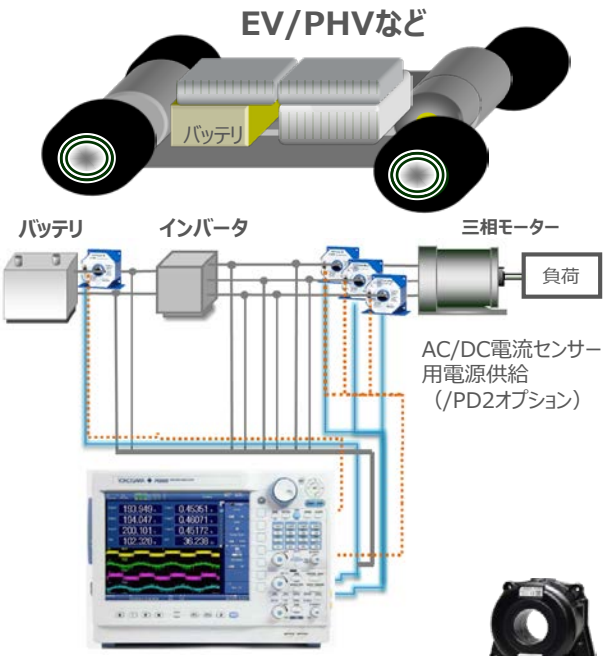
PX8000　EV/PHVインバータ･モーターの波形測定、過渡電力測定

インバータ･モーターの瞬時的な電力変化や効率を、波形を的確に捉えて解析

EV/PHVのインバータ･モーター評価において入出力パラメータ測定および効率測定は重要な測定項目となっています。また、定常的なデータ収集だけでなく、加速時、あるいは減速時における過渡的な電力測定のために、瞬時波形の測定も重要になっています。PX8000は、100MS/s高速サンプリングで高速のインバータ波形を的確に捉えて、過渡的に変化する電力をカーソル区間で演算したり、周期ごとのトレンド値を算出できます。また、電圧と電流の電気信号とともに、トルクおよび回転速度も入力できるので、インバータ/駆動モーターのインバータ効率、モーター効率、総合効率の評価ができます。



プレシジョンパワースコープ　PX8000

瞬時電力演算

電圧と電流の波形だけでなく、瞬時電力波形もデータ収集できます（標準装備）。たとえば、モーターの始動時の過渡的な電力波形評価ができます。

カーソル指定区間の電力演算

測定したい波形区間をカーソルで指定することで、指定区間の数値データを演算できます。

CT2000A　CT1000　CT200　CT60

最大3000Apkまで測定可能な広帯域DC/AC電流センサー

*PX8000には駆動用のDC電源を搭載できます（/PD2オプション）。

Copyright © Yokogawa Test & Measurement Corporation